

地域密着型サービス第13回運営推進会議 報告書

施設名： あおぞらデイサービス
施設種類： 地域密着型通所介護
日時： 令和5年3月20日（月） 17：00～18：00
会場： あおぞらデイルーム
出席者： あおぞら職員（代表・所長・管理者・職員） 8名

○ 今回運営推進会議は新型コロナウイルス感染症拡大防止から、会議は中止して、対応方針として書面会議を実施いたしました。

議題： ① 事業所概要説明
② 質疑回答

○ 利用者状況報告

・男女比	・年齢別
男性・・・4名	70歳～・・・1名
女性・・・16名	80歳～・・・9名
計20名	90歳～・・・10名

・介護度	・地域別
事業対象・・・0名	今市地区・・・1名 小山地区・・・1名
要支援1・・・0名	高岡地区・・・2名 荒茅地区・・・1名
要支援2・・・2名	渡橋地区・・・1名 芦渡地区・・・1名
要介護1・・・11名	日下地区・・・1名 姫原地区・・・1名
要介護2・・・4名	古志地区・・・2名 塩冶地区・・・6名
要介護3・・・2名	武志地区・・・1名 白枝地区・・・1名
要介護4・・・1名	大津地区・・・1名
要介護5・・・0名	

・曜日別利用者数		
月曜日・・・9名	火曜日・・・10名	水曜日・・・9名
木曜日・・・10名	金曜日・・・9名	

○ サービス状況

<野外活動>

10月 万九千神社

11月 斐川の学類、湖陵の常楽寺公民館の菊花展 での活動状況報告

<調理活動>

10月 栗の皮をむいて実を出す作業

での活動状況報告

<季節行事>

2月 節分の豆まき

での活動状況報告

<創作活動>

毎月の壁画用の作品作り

次回月のカレンダー作り

での活動状況報告

<レクリエーション活動>

「お手玉ビンゴ」など様々なゲームでの様子

での活動状況報告

○ コロナウイルス感染対策

- ・コロナウイルス感染症の位置付けが5月から変わり、3月以降マスク着用について個人の判断に委ねられることになりましたが、当事業所ではコロナウイルス感染予防対策を引き続き行い、予防対策の状況報告をいたしました。
- ・今年1月からは出勤前に職員の抗原検査キットを週2回の頻度で行い、毎週県に報告していることの説明など行い、感染状況を見極めながら今後も徹底した感染拡大防止を行うことを報告しました。

○ 意見聴取についての回答

- ・コロナの予防のため職員の行動制限はありますか？

→A) 制限まではないですが、県外に外出する際は必ず当施設での申請用紙に記入して事業所の判断に委ねています。

また外出した際は出勤の前日にコロナ抗原検査を行い、陰性の確認と管理者に報告するようにしています。

・直近のヒヤリハットの事例について

→A) 2月に利用者様の入浴後の爪切りの際、右手小指の内側の皮膚を誤って切ってしまい出血がみられカットバン処置を行いました。しばらくして出血も止まり、帰所前には消毒してカットバン交換を行いました。送った際家族様に謝罪と報告をさせていただきました。爪切りの際、よく見ていなかったこともあり、今後は電動爪切りの使用など考えています。

・研修の予定はありますか？

→A) 毎月職員の全体会議として研修を行い、また外部研修ではZOOMにて参加を行っています。